

8-1-6 対外活動委員会WG (国総研・土研)

1. 対外活動委員会 WG (国総研・土研) の概要

(1) WG (国総研・土研) の活動目的

国総研・土研との意見交換会は、地方ブロック意見交換会にならない、平成25年度から実施されている。平成26年度から対外活動委員会WG

(国総研・土研) を設立し、意見交換会のテーマ設定、国総研・土研への「要望と提案」の作成などを行っている。

(2) WG の構成 (委員)

WG長は常任委員長、副WG長は技術委員長である。その他委員は5名で、総勢7名で構成されている。

2. 主な活動の記録

(1) WG の開催実績

WGは、内部WGのほか、国総研・土研との事前調整を以下の日程で4回開催した。

第1回：令和4年10月20日 (事前調整)

第2回：令和4年11月8日 (事前調整)

第3回：令和4年12月6日 (事前調整)

(2) アンケートの実施と「要望と提案」作成

国総研・土研業務の受注実績がある会員を対象として、業務遂行上の課題などについてアンケート調査を実施した。その結果を反映して、改正品確法を踏まえた「要望と提案」および付属資料を作成した。

「要望と提案」(国総研)(土研)の骨子は以下のとおりで、★は重点討議事項である。

I. 担い手の育成・確保のための環境整備

(1) 働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働の取組み推進

- ①発注時期の前倒し(共通)★
- ②納期(履行期限)の平準化(共通)★
- ③受発注者協働によるワークライフバランスの改善(共通)★
- ④柔軟な契約方法の適用

(2) 企業経営の安定に向けての環境整備

- ①発注量の安定的確保(共通)

(3) 人材の育成・確保の環境整備

- ①若手技術者を育成する入札・契約制度の導入(国総研)
- ②若手技術者への表彰制度の普及(土研)
- ③交流研究員に関する制度改定(共通)

II. 技術力による選定

- (1) プロポーザル方式による業務発注の継続(国総研)
- (2) 業務内容に応じた入札・契約方式の採用(土研)
- (3) 低価格入札の防止(土研)★

III. 品質の確保・向上

- (1) 品質向上に向けた複数年度契約(共通)
- (2) 業務成績評定の通知(土研)

IV. DXの推進の環境整備と成長と分配の好循環の実現

- (1) DXの推進
 - ①Web会議による業務の効率化(共通)
 - ②プロポーザル方式における資料閲覧の効率化(国総研)★
 - ③電子契約システムの導入(土研)

(3) 意見交換会テーマの設定

国総研・土研の意見交換会では、毎年、技術的意見交換テーマを設定して議論を行ってきたが、今年度は「要望と提案」の重点討議事項を設定し、意見交換を行った。

(4) 意見交換会の開催

国総研・土研との意見交換会を令和4年12月13日に開催した。意見交換会の議事は、下記のとおりである。

- (1) 地方ブロック意見交換会の報告
- (2) 建設コンサルタント協会からの要望・提案回答・意見交換
- (3) その他：DXデータセンター、一者応札、研究業務の発注の意義・あり方について、意見交換

3. 次年度の活動について

次年度も今年度と同様、アンケート調査を実施し、その結果を「要望と提案」に反映させ、意見交換会に臨む。また「要望と提案」を重点的に討議するのか、特定テーマ(個別課題)を設定するのか、国総研・土研と事前協議を行う予定である。

(対外活動委員会WG (国総研・土研) WG長
堤 安希佳)